



「地球の声」デザイン小委員会

資源へのアクセシビリティの見直しによる 「地球の声」を代弁する建築デザイン

林 咲良
常山 未央
能作 文徳
大橋 貴洋
今村 創平
山下 博満
海野 玄陽
大野 二郎
川島 範久
金野 千恵
小見 山陽介
安原 幹
篠原 雅武
富永 美保
伊藤 孝仁
末光 弘和
秋吉 浩気
佐藤 布武
中島 靖紀
林 憲吾
塚本 由晴

2018年9月
日本建築学会地球環境委員会

資源へのアクセシビリティの見直しによる 「地球の声」を代弁する建築デザイン

日時 2018年9月5日(水) 9:15~12:45
場所 川内北講義棟B200室

司会 塚本由晴(東京工業大学)
副司会 今村創平(千葉工業大学)
記録 金野千恵(teco)

*冊子頁

1. 主旨説明	塚本由晴	02
2. 主題解説		
① モンスーンアジアの地域資源	林憲吾(東京大学)	04
② 徳島剣山系暮らしのエコロジー	中島靖紀(移住農家)	10
③ 牡鹿漁師学校の試み	佐藤布武(名城大学)	12
④ 自伐型林業×デジタルファブ리케이션	秋吉浩気(Vuild)	18
⑤ 環境シミュレーションを用いた身の回りの自然の活用	末光弘和(SUEP.)	24
⑥ スキル×ストックによる都市型コモンスの再構築	伊藤孝仁・富永美保(tomito)	30
3. 討論 クリティーク:篠原雅武(京都大学)		
4. まとめ	安原幹(東京大学)	

▷委員会メンバー活動記録

恋する豚研究所+栗源第一薪炭供給所	塚本由晴	36
木材資源がつくる空間と風景	安原幹	38
材と造 その「あわい」にある可能性	小見山陽介	40
具体の集合による地域の小さな生態系	金野千恵	42
伝統的集落・慣習的建築形式の知恵を「環境シミュレーション」で観察して学ぶ	川島範久	44
太陽エネルギーの時代	大野二郎	46
知的資源のアッセンブル	海野玄陽	48
そこにある資源を活かす	山下博満	50
アクターネットワークを用いた都市的プロトタイプの提案	大橋貴洋 今村創平	52
男木島エコロジカルフロー(風呂/FLOW)	川島範久+能作文徳	54
西大井のあな 都市のワイルド・エコロジー	能作文徳+常山未央	56
生物多様性に配慮した建築	林咲良+塚本由晴+能作文徳	58